

静岡県サルコ友の会

# 医療講演会・交流会

2021年 **2月13日** (土)

## 免疫疾患病と 上手につき合うために

講師 : 大橋 弘幸 先生

市立御前崎総合病院 病院長

場所 : 静岡駅ビル パルシェ 7階第1会議室

講演開始 : 13時15分～16時00分(質疑応答を含む)

受付 : 12時から (どなた様でも無料参加できます)



今回は、コロナの為に中止になる場合もございます。  
出席希望者は、お手数ですが事前に電話番号を  
ご連絡してください。中止の場合に連絡します。

問合せ先 : 神谷 京子 (静岡県サルコ友の会 会長)

電話/FAX : 054-396-3378

携帯 : 090-7699-4014

主催 : 静岡県サルコ友の会

共催 : NPO法人 静岡県難病団体連絡協議会・静岡県  
星いきいき社会福祉財団





## 市立御前崎総合病院について

病院長 大橋 弘幸

2006年より当院に院長として赴任しました。当時は地域医療の崩壊が叫ばれていた頃で赴任する直前までは、大変だろうなあと感じていましたが、実際に来て見たらもっと大変でした（笑）

いろんな科に引き上げられて、医師、看護師も含めてスタッフ全体に不安が広がっていました。

どうやって地域医療をやっていくかを日々悩みましたね。

働く人たちのモチベーションをどうやって上げるかにも思いを馳せましたし、あらゆる経費がかかる病院の経営も考えなければなりません。

具体的実践できる事は限られていましたが、まず、当時としては先駆けだった回復期リハビリ病床をつくりました。当院の看護師は日頃から一生懸命やってくれていましたし、リハビリのスタッフも充実していました。彼らが病院の大事な資源ですので活用しない手はないと考えたのです。

おかげさまで、当初40床だったものが現在では60床に増えています。やはり、リハビリの効果で患者さんが比較的早めにお家に帰れるようになった事は大きかったです。他にも健診センターの充実や一般病床の集中・削減などを実施しました。

リウマチ科に関しては決して交通の便が良いとはいえませんが、私達を信頼して、富士や富士宮、浜松からも患者さんが来院されていまして、リウマチセンターを作りました。

センターでも診る事ができない患者さんや出産を望まれる患者さんには、医局のネットワークを使って信頼できる大学病院や聖隷浜松病院などに紹介しています。

浜松医科大学 内科学第三講座 免疫・リウマチ内科 インタビュー 抜粋

## 静岡駅ビル パルシェ 7階案内図

